

五色池通信

291 2010年 5月 28日 発行
中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

五色池祭り 楽しく終了

五色池祭り、炭焼きキャンプは、好天に恵まれ、44名の参加で楽しく行われました。親子での参加者が増えて、子どもたちのにぎやかな遊び声いっぱいの行事となりました。

竹炭材料の竹は前日に運び込み、朝から作業開始。今年は竹細工用のナタを2丁とのごぎりの替刃も購入したので、作業もはかどり、昼過ぎには火入れを行いました。

いつものようにトン汁を作って昼飯を食べ、午後はテントを4張り設置して、バーベキュー用の具材買出し。

子供たちはザリガニ釣りをしましたが、ほとんど釣れません。いつもはザリガニが大量に釣れて茹でて食べたのに、今年は事情が一変。また、去年はたくさんいたウシガエルのオタマジャクシもほとんど見つかりません。その原因は、池でコイが育ち、それがザリガニやオタマを食べていることによるものと思われます。(詳しくは裏面)

炭焼き用の薪(まき)は、池の周りのヤナギの切り落とした枝を、太いところはマサカリで割って使ったので、自給自足です。バーベキュー用の炭は昨年作った竹炭の残りも若干使いましたが、これは購入したものの。

環境フェアと新中川フェスタのスタッフ大募集中

6月5日、今年も総合文化センター前の広場に、中土手に自然を戻す市民の会と下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラムの3者共同のブースを出します。

ヨシ笛やミニヨシズ作り、竹炭の販売など、人気のブースになっており、スタッフとして来てください。

6月13日は新中川の小岩大橋下流右岸に下平井水辺の楽校が出展します。水鉄砲とミニヨシズのほか、投網も新中川で実施します。去年は高山さんがスズキの大物をゲットしたところです。

どちらも主催者(江戸川区)からおいしい弁当が出ます。参加できる方、佐藤までご連絡ください。



この後の行事予定

6月 5日(土) 江戸川区環境フェア 9時 総合文化センター

6月 6日(日) 下平井水辺の楽校 10時

6月13日(日) 新中川フェスタ 9時 小岩大橋下流右岸

6月20日(日) 中土手作業・観察会 10時

7月 3日(土) 東なぎさクリーン作戦 葛西臨海公園 9時



五色池に大きなコイ！ ザリガニとウシガエルのオタマが減少

5月3日に高山さんと佐藤で竹炭用の孟宗竹を持ち込んだ際、五色池で釣り人が40センチほどの大きなコイを釣り上げていました。昨年春の五色池で数センチのコイが投網で取れていたの、それが大きく育ったものと思われます。3月頃に池のガマの生えているところでコイの産卵行動が見られたので、かなりの数がいるものと思われます。

これまではザリガニとウシガエルのオタマジャクシを捕食する動物はサギしかいませんでしたが、コイが加わったことで、自然の生態系が戻ったといえます。コイが増えすぎても良くないので、これは人間が釣るなり投網で獲って、間引きする必要があるかもしれません。

コイのいないタマ湖(送電鉄塔の川側にある)は、従来どおり、ザリガニがたくさんいます。5月7日、大杉小の子どもたちが来てたくさん釣っていました。



今回、竹炭は一部生焼けが残りました。火口を閉めて、全体を埋め込む時間が、少し早かったようです。

焚き口から火を送り込み、自燃が始まったら、火口を細くして、全体が炭化するのを待ちます。白い煙が出なくなり、青白い煙に替わるのが目安です。煙突の先の温度が、100度をを超えて、200 近くまで上がったら、完全に火口を閉め、ドラム缶の窯全体を土で埋め込みます。

今回はこれがちょうど夜半になり、少し早く埋め込んだことが失敗の原因と思われます。

7日、大杉小のサポートの後にスタッフで掘り出しましたが、半分以上は炭として利用できる状態でした。生焼けの炭はもう一度窯に入れて焼けばいいのができますが、今回は燃料に使うことにします。(報告 佐藤)

